

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究の対象となる当事者及びそのご遺族だと思われる方で、研究対象となることを望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。当事者であることが確認され次第、直ちに研究対象から除外させていただきます。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。また、本研究により得られた個人情報は本研究の目的以外では使用せず、研究成果の発表を行う際には個人が特定されないよう配慮いたします。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や、個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 20世紀前半期における私立精神病院の診療録を利用した重層的な精神医療の機能に関する研究

【研究責任者】 鈴木晃仁（慶應義塾大学経済学部教授）

【本研究の目的及び意義】

本研究では、昭和戦前期の東京の精神病院である王子脳病院の史料を分析して、精神医療の多能的な役割を検証し、重層的な精神医療の形成と構造を明らかにすることを目的としています。この研究により、戦前期の精神医療が医学的に未発達ではあったとはいえ、家庭と病院という空間をある意味で柔軟に往来していた当時の患者の姿を明らかになると予想され、現在の精神医療政策にとっても有用な歴史的な議論の基盤となっていくことが考えられます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

- ・1901年9月1日より1945年5月10日までの間に、王子脳病院に入院された方

利用する試料・情報等

診療録記載の以下の情報：氏名、入退院日、生年月日、診断・治療・看護・既往歴、体温表、転帰、居住地、家族・配偶者の有無、家族との通信・面談の記録、患者・家族の作成物など

研究期間

2018年6月26日より2023年3月31日まで

【研究機関】

慶應義塾大学経済学部 研究代表者 鈴木晃仁

○問い合わせ窓口

清水ふさ子（慶義塾大学社会学研究科 研究員）

メールアドレス：KakenLTCA11@googlegroups.com

○苦情窓口

慶應義塾の研究活動に関する申し立て窓口

①（郵送による場合）108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾 総務部内

「研究費不正、研究不正に関する申し立て窓口」係 宛

②（web による場合）<https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/somu/kenkyufusei/index.html>